

平成24年12月20日

内閣総理大臣
財務大臣 様
国土交通大臣

下諏訪町議会議長 濱 章 吉

国道20号下諏訪・岡谷バイパス第1工区早期工事着手及び諏訪バイパスルートの早期確定を求める意見書

国道20号バイパスにつきましては、湖北トンネル南交差点から岡谷インターまでの下諏訪岡谷バイパスの第2工区2.9kmが平成16年3月27日に新和田トンネル有料道路延伸区間と同時に暫定供用が開始されました。また、新たな交通体系が形成され、市街地の渋滞緩和、近隣住民の住環境の改善、利便性の向上はもとより、特に商工業・観光目的の大型車のバイパス利用が年々増加し、顕著な整備効果をもたらしております。

しかしながら、一般国道20号は、東京から松本塩尻圏域を結ぶ主要幹線道路としての大動脈であり、下諏訪町内の中心部を通るため、朝夕はラッシュで交通事情は年毎に悪化しており、観光客の増加により、交通渋滞が激化するなど、交通事情の悪化は住民生活に大きな影響を及ぼしています。

また、平成18年7月の豪雨災害では、バイパス未整備区間の諏訪市下諏訪町地籍の3箇所が最大37時間に及び全面通行止めになるなど、諏訪湖を挟んだ南北の交通が遮断され陸の孤島となりました。

一昨年3月11日に発生しました「東日本大震災」の教訓として、ネットワーク機能のある代替え道路の重要性が再認識されたところであります。下諏訪岡谷バイパス―諏訪バイパス―坂室バイパスへと連なる諏訪地域一連のネットワークの完成は、周辺地域の環境改善のみならず、災害時における急患、物資の代替え緊急輸送路確保の上からも必要不可欠の道路であると考えているところであります。一般国道20号下諏訪・岡谷バイパス第1工区の早期着工、及び諏訪バイパスの早期事業着手のため格段のご配意をいただきますようお願い申し上げます。

以上、ご賢察のうえ、道路予算の充実強化に、下記のとおり特段のご配意を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 下諏訪・岡谷バイパス第1工区の早期工事着手に向けての事業促進をしていただきたい。（延長約1.7km）
- 2 現国道142号以东の諏訪バイパスの早期ルート確定をしていただきたい。
- 3 遅れている地方部の道路整備のため、地方道路整備に対する必要な予算の充実や地方の視点に立っての諸施策を一層促進していただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。